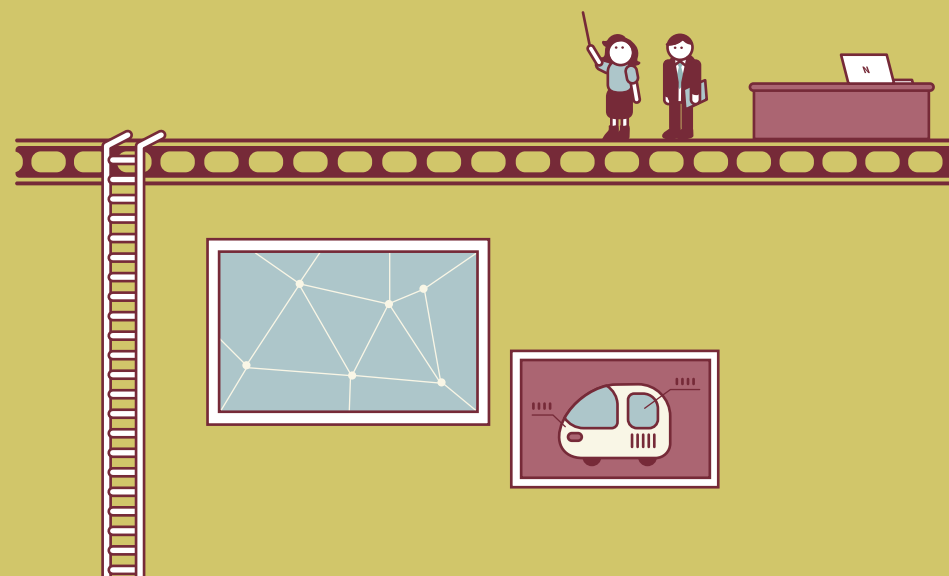


Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

Report on its Activities in 2020-2021



introduction

本レポートの目的

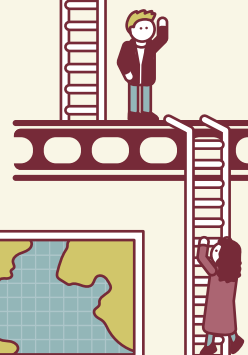
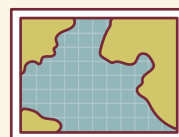
愛知・名古屋圏は、ものづくり産業の世界的な集積地であり、大都市ならではの商業・サービス業の厚い集積を持った経済力を維持してきました。

一方で、近年、AI・IoTなどの先端技術の急速な進展により、産業を取り巻く状況は劇的に変化しており、自動車産業においては、100年に一度の変革期と言われるなど、大きな転換点を迎えているところで。

また、海外においては、GAFAを中心にスタートアップから始まった企業が経済成長を牽引している状況となっており、当地域だけでなく、我が国全体としても大きく出遅れている状況です。

こうした中で、当地域としては、新たな産業基盤を創出し、産業競争力を強化していくことが非常に重要です。そのため、従来の考え方にとらわれず自由な発想で新たな価値を生み出していくイノベーション創出の担い手となるスタートアップを創出し、成長を支援することが必要であると考えています。

愛知・名古屋地域は2020年7月にスタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」に選定されたことを契機とし、地域一丸となってスタートアップ・エコシステム形成に取り組んでいます。エコシステム形成を推進するために組成したAichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortiumでは、エコシステム形成に向けて具体的なKPIを定めた上で、各種施策に取り組んでいます。このたび、2020年から2021年におけるKPIの達成状況をインフォグラフィクスを用いて可視化し、検証での活用と認知のためにレポートを作成いたしました。



index

01 コンソーシアムについて

エコシステム形成の計画と目標—Vision/Mission

エコシステム形成に向けた4つの重要コンセプト

02 エコシステム形成のための6つのKPI

03-04 コンソーシアムが定める6つのKPIと2020年度の成果

05-10 2020年度の実績

KPI① 起業を志す人材・イノベーション人材の輩出

KPI② 様々なプレーヤー間の共創による新規事業開発件数

KPI③ 海外スタートアップ企業と当地域企業とのビジネスマッチング件数

KPI④ 資金調達総額

KPI⑤ スタートアップの起業数

KPI⑥ 100億円以上の売上規模のスタートアップ創出
企業評価額1,000億円以上企業創出

11 今後の展望

consortium

コンソーシアムについて

愛知・名古屋・浜松地域のスタートアップ・エコシステムを形成するためにコンソーシアムを組成して活動しています。スタートアップが持続的に創出されるためには、起業家、起業支援者、企業、大学、金融機関、公的機関等が結びつき、発展を続けるエコシステム(生態系)を形成することが不可欠です。

愛知・名古屋・浜松地域では、一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市、浜松市等で、「Central Japan Startup Ecosystem Consortium」を組成し、スタートアップ・エコシステムの形成を進めています。

2020年7月には、愛知・名古屋及び浜松地域がスタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」として内閣府から選定されたところであり、当地域一丸となって、スタートアップの創出及び育成支援に努めています。

concept

エコシステム形成に向けた4つの重要コンセプト

1



卓越した次世代型教育を受けた人材の輩出

2



ディープテックを活かした共創・オープン化による社会実装・社会課題解決

3



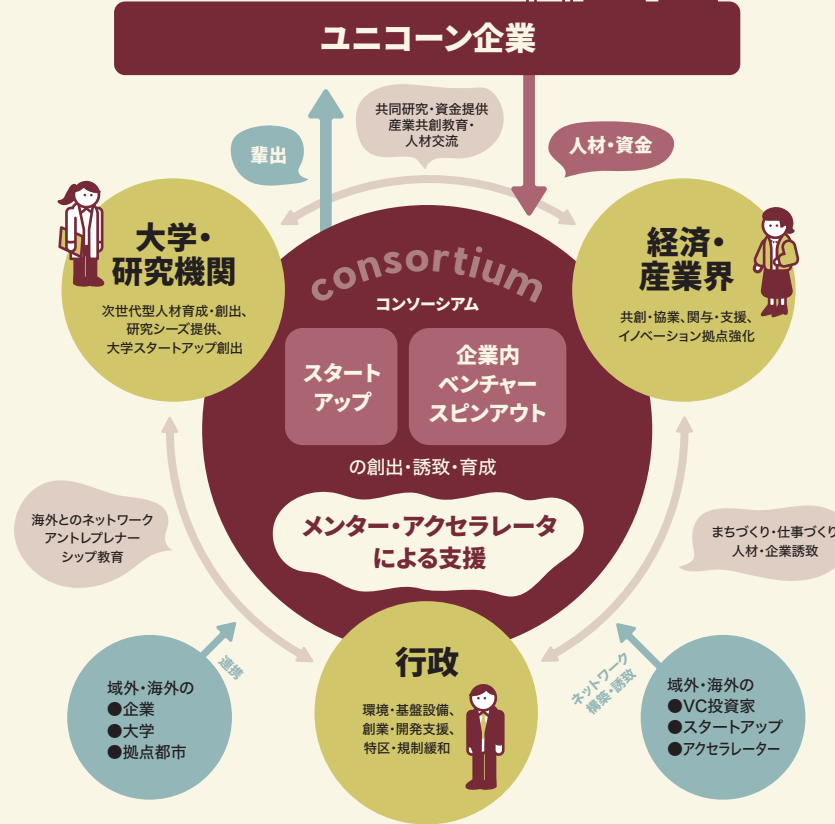
海外ネットワークの拡大・深化と求心力の強化

4



ベンチャーファイナンスの仕組みを構築

startup ecosystem



plan & goal

エコシステム形成の計画と目標

vision

「日本経済を牽引する成長」、スタートアップと新産業の創出が続く新しい社会「Next Society」を実現。

mission

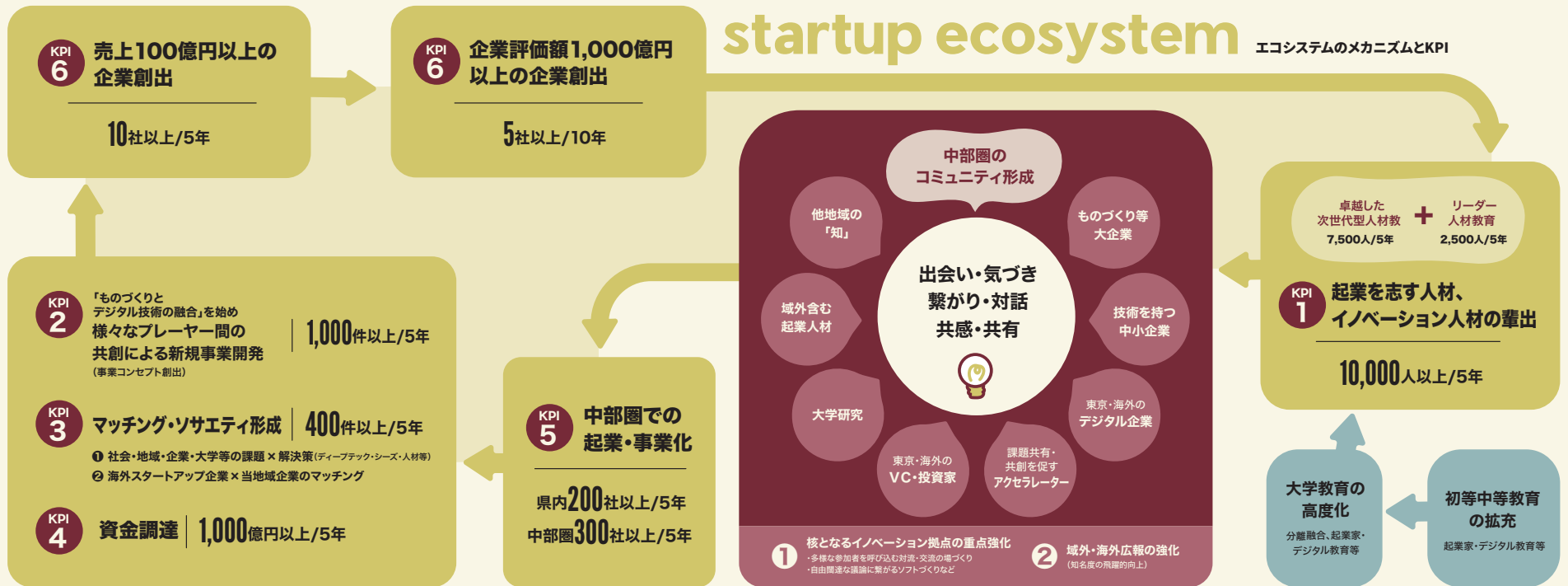
この地域の強みであるものづくり産業と基礎研究の集積から生まれるディープテックを活かしたスタートアップエコシステムを形成する。



6 key performance indicator

エコシステムが定める 6つの指標 スタートアップエコシステム形成にあたり、中部圏のスタートアップの起業数、新規ビジネスの創出件数や資金調達額などについて、年度ごとの目標値と5年後の具体的な目標値を定め、達成度を検証しています。

KPI 1	起業を志す人材・イノベーション人材の輩出	10,000人以上/5年	KPI 4	資金調達額	1,000億円以上/5年
KPI 2	様々なプレイヤー間の共創による新規事業開発件数	1,000件以上/5年	KPI 5	スタートアップの起業数	県内200社以上/5年 中部圏300社以上/5年
KPI 3	海外スタートアップ企業と当地域企業とのビジネスマッチング件数	400件以上/5年	KPI 6	100億円以上の売上規模のスタートアップ創出 企業評価額1,000億円以上企業の創出	10社以上/5年 5社以上/10年



achievement rate 2020

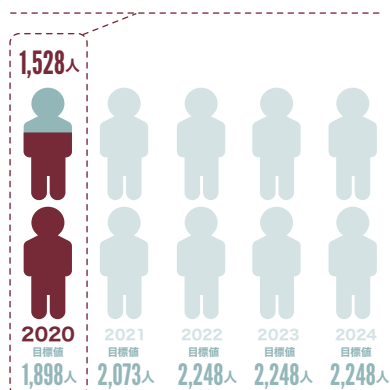
2020年度末までの拠点都市の取り組みと達成率

KPI 1 起業を志す人材・
イノベーション人材の輩出

2020年度
達成数 | **1,528人**

目標 | **1,898人**

達成率 | **81%**



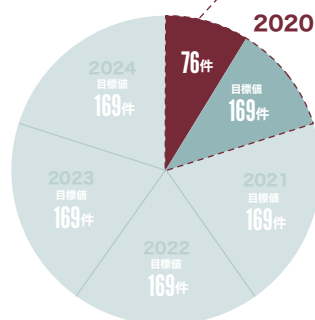
KPI(5年) / **10,000人以上**

KPI 2 様々なプレイヤー間の
共創による新規事業開発件数

2020年度
達成数 | **76件**

目標 | **169件**

達成率 | **45%**



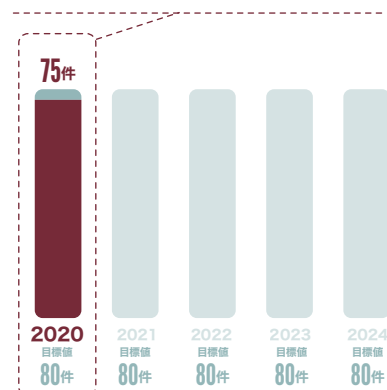
KPI(5年) / **1,000件以上**

KPI 3 海外スタートアップ企業と当地域
企業とのビジネスマッチング件数

2020年度
達成数 | **75件**

目標 | **80件**

達成率 | **94%**



KPI(5年間) / **400件以上**

achievement rate 2020

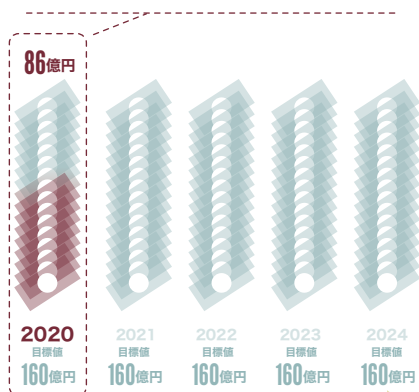
2020年度末までの拠点都市の取り組みと達成率

KPI 4 資金調達額

2020年度
達成数 | **86億円**

目標 | **160億円**

達成率 | **54%**



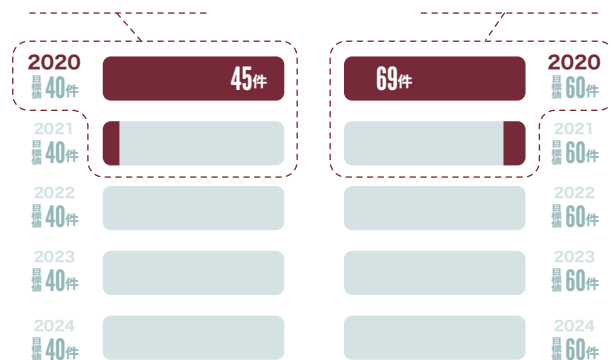
KPI(5年) / **1,000億円以上**

KPI 5 スタートアップの起業数

県内 | **45件** | 2020年度
達成数 | 中部圏 | **69件**

40件 | 目標 | 60件

113% | 達成率 | **115%**



KPI(5年) / 県内 **200件以上** 中部圏 **300件以上**

KPI 6 100億円以上の売り上げ規模のスタートアップ創出数

2020年度
達成数 | (なし)

KPI(5年間) / **10社以上**

KPI 6 企業評価額1,000億円以上企業の創出数

2020年度
達成数 | (なし)

KPI(10年間) / **5社以上**

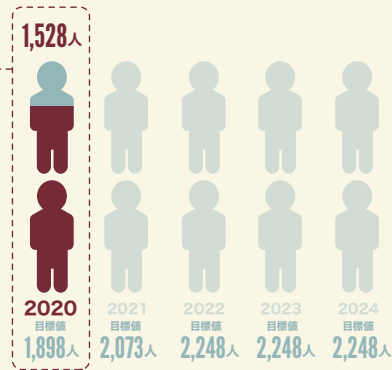
KPI
1

people who want to start a business/producing innovation people

起業を志す人材・イノベーション人材の輩出

1,528人

2020年度目標 1,898人

KPI / 10,000人以上
(5年)

主な取り組み

トンガリプログラム(名古屋大学等)…551人

小中学生起業家育成事業(名古屋市)…333人

イノベーターズガレージプログラム(中経連)…388人

あいちスタートアップキャンプ(愛知県)…58人 など

イノベーター・起業家創出プログラム

スキル習得・
アイデア創出NAGOYABOOST
10000(名古屋市)

AI/IoTを活用した起業や新事業創出に取り組む人材を育成

30人

起業家育成

あいちスタートアップキャンプ(愛知県)

「革新的ビジネスアイデア」を持った人材、生み出した人材を
発掘し、スタートアップ起業者として育成

58人

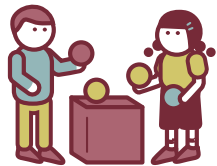
イノベーション人材

ビヨンドザボーダー(中部経済連合会(イノベーターズガレージ))

共通社会基盤の理解・深化、未来社会の構想、異分野融合による
共創を通じて、新たな価値の創造を力強く推進していく人材を育成

57人

起業家教育プログラム(名古屋市経済局)

elementary school student
小学生起業家
育成事業

小学起生業家たまご塾 171人

junior high school student
中学生起業家
育成事業「スタートアップ1DAY」
「スタートアップ3DAY」 162人senior high school student
高校生スタートアップ
創出促進事業(2021スタート)「ティーンズ・ミートアップ」
「スタートアップ・ユースキャンプ」

(名古屋大学他)

EDGE-NEXT
SCORE大学推進型

Tongali 551人

KPI
2

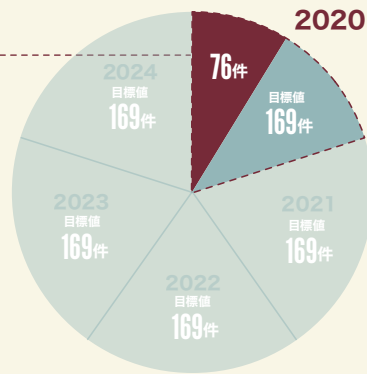
by co-creation of various players number of new business developments

様々なプレイヤーの共創による新規事業開発件数

76件

2020年度目標 169件

KPI / 1,000件以上
(5年)



主な取り組み

- スタートアップ共創促進事業(名古屋市)
- 先進技術社会実証支援事業(名古屋市)
- あいちマッチング(愛知県)
- Aichi Open Innovation Accerlator(愛知県)
- スタートアップ企業海外連携促進事業(愛知県・名古屋市)
- など

オープンイノベーション スタートアップ・エコシステム拠点推進協議会ベストプラクティス共有WG発表(一部加工)



スタートアップ
共創促進事業
(名古屋市)

地元事業会社 × 国内SU
(事業会社を中心としたプログラム)

マッチング件数 62社 | NDA締結数 18社



先進技術社会実証
支援事業
(名古屋市)

国内SU × 自治体・社会課題

実証件数 9社 (うちスタートアップとの共同開発 6社)

Aichi Open
Innovation Accerlator
(愛知県)

地元事業会社 × 国内SU

マッチング件数 90社 | 共同開発契約数 11社

あいちマッチング
(愛知県)

地元事業会社 × 首都圏SU

マッチング件数 145社 | 共同開発契約数 5社

スタートアップ共創促進事業 NAGOYA Movement(2020年度~継続開発中)

課題認識 高齢化社会に伴う介護ニーズの高まり、漠然とした介護への不安



- アセット/強み
- 介護ヘルパーネットワーク
 - 介護領域におけるナレッジと問題解決のためのノウハウ

あしたがつてきに!



- アセット/強み
- ASMITAS会員、ClubTOHOGAS会員
 - 介護施設や老人ホームへのネットワーク



ミタスカ

副業ヘルパーマッチングサービス
介護の相談窓口

介護保険適用範囲に限らない質の高いオーダーメイドサービス。
急激にニーズが顕在化する介護特有の不安や悩みを解決。

先進技術社会実証支援事業 HATCH TECHNOLOGY NAGOYA(2020年度実績)

犯罪予測による防犯ボランティア活動の最適化



犯罪予測AI

株式会社
Singular Perturbations

犯罪予測AIにより最適な防犯パトロール経路を策定できる
アプリを用いて、地域住民が防犯パトロールを行い、効果を検証。

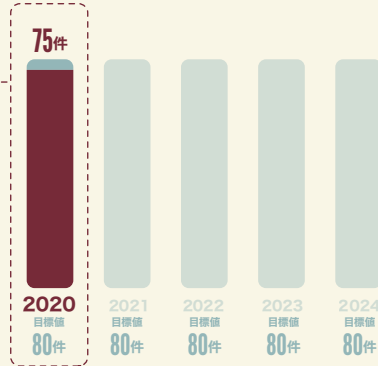
KPI
3

number of business matching between overseas start-up companies and local companies

海外スタートアップ企業と当地域企業とのビジネスマッチング件数

75件

2020年度目標 80件

KPI / 400件以上
(5年)

主な連携先国・地域

アメリカ、フランス、イギリス、ドイツ、シンガポール、中国、国、イスラエル など

グローバルコミュニティの形成

NAGOYA CONNÉCT
Powered by Venture Café

米ボストン発、世界6市・11拠点で開催されているイベントプログラム「Venture Cafe」と連携し、月1回ごとのキャンパスにてイベントプログラムを実施。(名古屋市×Venture Café Tokyo)



グローバルプロモーション

STARTUP GUIDE
NAGOYA

「日本の名古屋」から「世界のNAGOYA」への飛 を目指し、スタートアップを目指す世界中の起業家やVCをターゲットに、当地のビジネス、社会・生活環境基盤や世界とのネットワークの良さを解説。イノベーション創出活動拠点、先輩起業家、大学、ベンチャーキャピタルなどを英語で紹介。(中部経済連合×名古屋市×STARTUP GUIDE社)



ステーションAiを核とするスタートアップ・グローバルコミュニティの形



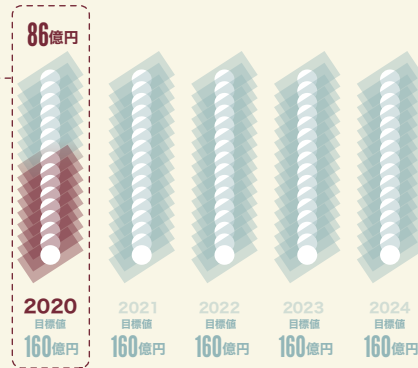
KPI
4

funding amount

資金調達額

86億円

2020年度目標 160件

KPI / 1,000億円以上
(5年)

投資額は堅調に推移

69億円 (過去5年平均) >>>> 86億円 ※全国4位

資金調達例①

株式会社ティアフォー

2020年資金調達額

49.8億円

調達後企業評価額
(2020年8月28日)

620.6億円

資金調達例②



名古屋大学発ベンチャー

株式会社U-MAP

2020年資金調達額

3億円

出資者一覧

- ・リアルテックファンド
- ・京都大学イノベーションキャピタル
- ・OKBキャピタル
- ・新生銀行
- ・東海東京インベストメント

資金調達例③



名古屋大学発ベンチャー

株式会社 Photo electron Soul

2020年資金調達額

9.7億円

資金使用用途

- ・事業開発
- ・製品製造
- ・研究開発

この調達資金によって、半導体検査装置向けの更なる事業開発の拡大に取り組む。

KPI
5

number of startups

スタートアップの起業数

県内

45社

2020年度目標 40件

KPI / 200件以上
(5年)県内における1年間の
スタートアップの起業数を倍増

中部圏

69社

2020年度目標 60件

KPI / 200件以上
(5年)県内22社 ▶ 県内45社
(過去5年最高)

名古屋市新規スタートアップ②

株式会社ポットスチル (名古屋市)

人の行動記録の収集技術
の開発と応用人と人工物間の
インタラクション技術
の開発と応用人の行動変容促進に関する
技術の開発と応用人の行動認識
および評価技術
の開発と応用

- ・名古屋大学発スタートアップ
- ・ロボホン(シャープ)向けカタログに掲載
- ・Human-Interaction技術
(人の心を動かし行動変容を促す)

名古屋市新規スタートアップ①

Roxy AI

株式会社Roxy (名古屋市)



【概要】

- ✓ 独自のAI可視化技術を駆使した、AIの知識がなくても使いこなせるAI検査製品
- ✓ 不良検出だけでなく、異物混入/残留物検出など幅広い用途



AIの出来栄えがバツとわかる可視化

- ・工業技術グランプリ「名古屋市工業研究所長賞」受賞
- ・「日本が誇るビジネス大学」(ミスターパートナー社)掲載
- ・あいちスタートアップ創業支援事業費補助金交付

名古屋市新規スタートアップ③

CYPE TECHNOLOGY

株式会社 CYPE Technology

(名古屋市)



- ・名古屋大学発スタートアップ
- ・VRを教育に応用する技術を提供

KPI
6

number of startups created with sales of 10 billion yen or more

100億円以上の売上規模のスタートアップ創出数

KPI / 10社以上
(5年) | (2020年度なし)KPI
6

number of companies created with a company valuation of 100 billion yen or more

企業評価額1,000億円以上企業の創出数

KPI / 5社以上
(10年) | (2020年度なし)

【参考】愛知・名古屋の新規上場企業

stmn, inc.
Rebuild the Relations
株式会社スタメン
(2021年12月)

WonderPlanet
ワンダープラネット
株式会社 (2021年6月)



セレンディップ・
ホールディングス株式会社
(2021年6月)

今後活躍が期待されているスタートアップ企業 (J-Startup選定企業※)

株式会社
オプティマインド

OPTIMIND

ラストワンマイルに特化したルート最適化サービスを提供。誰でも簡単に最適なルートを作成することができ、配送業務の効率化を行う。2020年度は、日本郵便における配達業務支援システムの試行導入や三菱商事株式会社が実施する、自動配送ロボットによるラストワンマイル配送の実証実験にパートナー企業として参画し、無人配送に関する新たなビジネスモデルの可能性を検討。

※J-Startupとは、グローバルに活躍するスタートアップを創出するために、2018年6月に経済産業省が立ち上げ。ベンチャーキャピタリストや大企業の新事業担当者等の外部有識者からの推薦に基づき、潜在力のある企業を選定し、政府機関と民間の「J-Startup Supporters」が集中支援を行うプログラムです。

future outlook

今後の展望

2020年～2021年にかけてはスタートアップ・エコシステムの地盤作りの年となりました。2020年7月に内閣府のスタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」に選定されたことを契機とし、産官学が連携して各種スタートアップ施策を実施しただけでなく、金融機関をはじめ様々なセクターとの連携も進みました。

もっとも、当地域のスタートアップ・エコシステムは形作られたばかりのところ です。今後も引き続き、強固かつ大きなサイクルとして回していくために様々な活動をしていきます。

2022年度は、スタートアップ企業がいつでもメンタリングを受けられるようなコミュニティを作る取り組みや、ナゴヤイノベーションズガレージの拡張、2024年完成予定のStation AIの整備の加速など、スタートアップが成長する環境の整備に引き続き取り組んでいきます。

Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

Report on its Activities in 2020-2021

